

中小企業の近未来化

第5回 AI・IoT

中小企業を取り巻く環境は大きな変化の時期にある。これからの中小企業のビジネスを考える上で必要不可欠な『近未来化』に向け、現実的な変化とその対応について三枝国際特許事務所

三枝国際特許事務所
中小企業診断士・柚木氏



『多様性』だ。『多様性』は、異なる価値観やスキルを持つ人々が集まることで、組織の柔軟性や創造性を高めることができる。AIやIoTの導入によって、業務の効率化が進む一方で、新たな課題も生じてくる。例えば、AIが人間の仕事を奪ってしまうという懸念がある。しかし、AIはあくまで人間の補助ツールとして活用されるべきであり、人間の創造性や感情といったAIが苦手な分野では、人間の強みを活かすことが重要だ。また、AIの導入には、セキュリティやプライバシーの確保も不可欠である。企業がAIを導入する際には、これらの課題をしっかりと認識し、適切な対策を講じる必要がある。

AIは何も奪わない

求められるのは変化への適応力

普通は普通ではなく、また、スマートフォンやタブレットで検索すれば解決できる情報は、付加価値をプラスする必要がある。中小企業にとって、AIやIoTの活用は、業務の効率化だけでなく、新たな市場を開拓するための重要な手段である。例えば、AIを活用して顧客の行動パターンを分析し、最適な商品やサービスを提案することで、売上を伸ばすことができる。また、IoTを活用して生産ラインの効率化を図り、コストを削減することも可能だ。しかし、AIやIoTの導入には、人材育成やスキルアップが不可欠である。企業がAIやIoTを活用するためには、従業員が最新の技術や知識を身につける必要がある。そのため、企業は継続的な学習や研修を実施し、従業員の成長をサポートしていく必要がある。

(おわり)